



# 七里っ子

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心  
健康な体 郷土愛

道志小学校 学校だより 令和6年2月9日

文責：校長 佐藤龍文

## 自分の命と体を守るために～薬物乱用防止教室～

1月26日に学校薬剤師の矢嶋一浩先生をお招きして6年生を対象とした薬物乱用防止教室を実施しました。この授業では、薬物について専門家の立場から詳しく教えていただきました。薬物に関わる問題は、6年生の保健体育で古くから扱ってきている内容ですが、昨今「オーバードーズ」という言葉とともに大きな社会問題としてクローズアップされています。大人だけでなく小学生も含めた十代の子ども達も、様々な悩みや不安から逃れるために風邪薬等を過剰摂取する事例が報道されています。これは、世の中で心が病んだり、精神的に追い詰められたりしている人が多いことの現れだと思えます。矢嶋先生もこの問題に心を痛めておられ、子ども達の命と体を守るために熱意をもって指導してくださいました。

授業では、前半に覚醒剤や大麻等の薬物に関する情報についてアニメを見て学習しました。子ども達は、所々で薬物について出される問題を考えることで、自分との関係性を強く意識した学びを深めていたと思えます。後半は、「薬物と薬の違い」や「薬物の依存性」、「薬物を勧められたときの対応」等について学習しました。薬には、効用とともに副作用があること、適切な量を守らないと体に害を及ぼすこと、薬への依存が危険で怖いこと等について、子ども達は真剣に耳を傾けていました。また、ダイエットやストレス解消等の理由で薬物を勧められる体験も実際にしましたが、子ども達は適切な言葉を考えて上手に断ることができました。

授業後の感想には、「薬物を勧められても絶対に断る」「つらいことがあったら周りの人に相談する」「市販の薬も使い方をよく見て飲む」「友達がやろうとしたら止めさせる」等の内容があり、自分や友達の名や体を守るために薬とどう向き合えばよいかについて多くの学びを得た様子が見られました。



## 正解のない問いを考え、相談し、表現する ～ 児演協ワークショップ ～

2月5日に第3回目の児演協ワークショップを実施しました。降雪により予定の時間を短縮して取り組みましたが、子ども達は大きな満足感を得ることができたようです。最終回は道志の伝説に登場する乙姫様に道志の良い所を紹介するというテーマで活動を行いました。前半は、講師の先生から指定された条件に合わせて個人、ペア、グループで自由に考えた身体表現を行いました。子ども達は、演劇的手法でリラックスしながら嬉々として体を動かしていました。最後にグループ毎にテーマの内容について相談し合い、一つの表現を創り上げて発表しました。話し合いでは、積極的に自分の考えを伝える子どもが多く、友達の意見と折り合いを付けながら一つの表現にまとめていく様子が見られました。正解がなく、自由な発想で考えることで、伝えることにも前向きさが出ていたように思います。表現も1回目に比べて多様なアイデアや動きを取り入れており、グループの独自性も高まっていました。事後の感想には、学年に応じて学習の面白さ、表現することやコミュニケーションについて学んだことがたくさん書かれていました。主体的に学習を進めていく上で必要となる力の育成につながる有意義な学習ができたと思えます。

